

2011年3月16日

内閣総理大臣 菅 直人 様  
厚生労働大臣 細川 律夫 様

全国保険医団体連合会  
会長 住江 憲勇

## チラージン S の緊急輸入・海外支援要請を緊急に求める

今回の大地震により、医療においても大きな影響が次々と起きている。被災者の保険診療や、人工透析の確保、計画停電による在宅人工呼吸療法患者の対応、物流の停止による医薬品供給、小児のノロウイルスの発生など、想定外のことが連続している。政府・関係機関はじめ対応方に尽力されているが、緊急に対応が必要な問題、「チラージン S の供給停止の危険性」が生じており、政府・関係方面に対応を強く求めるものである。

甲状腺機能低下症などの治療薬チラージン S はあすか製薬が98%を製造販売しており、その生産は福島県いわき市の「いわき工場」で行われている。今回の地震で生産設備に被害が発生し、安定供給のメドが立っていない。

この医薬品の半減期は7～10日程度のため、早期に供給に関する代替措置をとらない限り、服用者30万人の国内の患者の命が確実に危険にさらされます。

この危急事態を踏まえ、チラージン S に関し、海外からの緊急輸入と海外への支援要請が喫緊である。一刻も早い政府の行動と、その際の関税や薬事承認などの緩和など、超法規的措置が肝要となっている。

日本はかつて1960年代にソ連とカナダからポリオの生ワクチンを1,300万人分、超法規的に政府が輸入した先例もある。

政府・関係方面の英断を強く要請する。

以上